



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社sMedio

コード番号 3913 URL <http://www.smedio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 田中 俊輔

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 北埜 弘剛

TEL 03-3452-1227

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	908	14.6	114	△45.1	103	△59.4	52	△64.6
26年12月期第3四半期	793	—	208	—	255	—	149	—

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 49百万円 (△66.4%) 26年12月期第3四半期 148百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	31.06	27.19
26年12月期第3四半期	124.50	—

(注1) 当社は、平成26年12月期第3四半期より業績開示を行っているため、平成26年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載はしていません。

(注2) 平成26年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、平成26年12月31日時点において当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載していません。

(注3) 当社は、平成26年8月20日付で普通株式5株につき普通株式1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第3四半期	1,726	1,479	84.9	825.58
26年12月期	1,287	886	68.9	568.60

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 1,465百万円 26年12月期 886百万円

(注) 当社は、平成26年8月20日付で普通株式5株につき普通株式1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,252	27.9	211	6.6	223	△26.4	123	△39.0	71.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2社 (社名) 株式会社情報スペース、株式会社ブイログ、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年12月期3Q	1,804,568 株	26年12月期	1,597,728 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

27年12月期3Q	91 株	26年12月期	38,491 株
-----------	------	---------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期3Q	1,706,110 株	26年12月期3Q	— 株
-----------	-------------	-----------	-----

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想など将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	5
4. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### ① 売上高の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による一連の政策、日銀による金融政策により、総じて緩やかな回復基調が続いておりますが、米国の金融政策が正常化に向かう中、新興国経済が下振れし、わが国経済を下押しするリスクが存在しております。

当社と関連の深い電機業界やPC業界を取り巻く環境は、製品のコモディティ化による低価格化と消費需要の低迷により厳しい状況が続いております。その様な環境下、引き続き好調な北米向けの売上を主因として、売上高は908,940千円（前年同期比14.6%増）となりました。

売上形態別では、ライセンス・ロイヤリティ収入が793,552千円（同13.2%増）、保守サービス・サポート収入が57,163千円（同28.1%減）、受託開発収入が58,225千円（同349.0%増）でした。

#### ② 販売費及び一般管理費、営業利益の分析

当第3四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は359,487千円（前年同期比34.7%増）、営業利益は114,669千円（同45.1%減）となりました。

#### ③ 営業外損益、経常利益の分析

当第3四半期連結累計期間における営業外収益は、為替差益の減少により2,453千円（前年同期比94.8%減）となり、営業外費用は新規株式上場に関わる経費が発生したこと等により13,289千円（同42.3倍）となり、結果、経常利益は103,833千円（同59.4%減）となりました。

#### ④ 四半期純利益の分析

当第3四半期連結累計期間における四半期純利益は52,993千円（前年同期比64.6%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### ① 流動資産

流動資産は、前事業年度末に比べ337,108千円増加し、1,497,090千円となりました。これは主として、現金及び預金の増加301,728千円などによるものであります。

#### ② 固定資産

固定資産は、前事業年度末に比べ101,706千円増加し、228,955千円となりました。これは主として、のれんの増加67,388千円などによるものであります。

#### ③ 流動負債

流動負債は、前事業年度末に比べ98,412千円減少し、226,271千円となりました。これは主として、未払法人税等の減少111,529千円などによるものであります。

#### ④ 固定負債

固定負債は、前事業年度末に比べ55,368千円減少し、20,593千円となりました。これは主として、ロイヤリティに係る長期前受収益が売上へ振替られたことによる減少65,977千円などによるものであります。

#### ⑤ 純資産

純資産は、前事業年度末に比べ592,594千円増加し、1,479,180千円となりました。これは主として、資本金の増加219,387千円、資本剰余金の増加261,592千円などによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期第2四半期決算発表時（平成27年8月10日）に公表した業績予想について、現時点で変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、株式取得に伴い、以下のとおり株式会社情報スペースを連結子会社にしております。

## 1. 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 株式会社情報スペース

事業の内容

JSバックアップ(データバックアップサービス)、Recolle(モバイル写真編集閲覧サービス)を中心とするモバイルアプリケーションおよびクラウドサービスサーバーの開発とサービスの提供

## 2. 企業結合を行った主な理由

当社グループでは、ソフトウェアライセンス事業に次ぐ将来の成長シナリオとしてサブスクリプション課金・ダウンロード課金によるビジネスモデルの展開とモバイル業界へのより積極的な事業展開を図るため。

## 3. 企業結合日

平成27年6月2日

## 4. 企業結合の法的形式

株式取得

## 5. 得した議決権比率

取得直前に所有していた議決権比率 0%

企業結合日に追加取得した議決権比率 100%

取得後の議決権比率 100%

## 6. 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価とする株式取得により議決権の100%を取得したことによるものであります。

## 7. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成27年6月30日をみなし取得日としております。

## 8. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価 株式会社情報スペースの普通株式 78,800千円

取得原価 78,800千円

第3四半期連結会計期間において、平成27年8月3日に共同出資による子会社の設立をしました。

## 1. 共同出資による子会社設立の目的

弊社は、PCやスマートデバイスの進化、普及に合わせて、ストリーミング、デジタルメディア再生、クラウドサービス、ワイヤレス・モビリティ関連技術開発のリーディングカンパニーとして実績を重ねてまいりました。昨今、スマートデバイスや情報技術は更に進化を続け、様々な機器がインターネットでつながるI o T (Internet of Things) 社会が実現されようとしており、市場はインターネット時代からI o T時代に急速にシフトしております。

当社は、次なる事業および収益の柱として、更なるスピード感を持った経営、事業展開を推進するため、コンシューマ向けのビジネスと技術分野に深く精通されてきた、西本雅一氏、菊池正和氏と共同出資でI o T事業子会社を設立することといたしました。

当社グループは、国内外における既存事業とI o T事業の積極的な展開により、更なる企業価値向上を目指してまいります。

## 2. 共同出資による子会社の概要

(1) 名称 株式会社ブイログ

(英語名: v L o g C o r p o r a t i o n)

(2) 本店所在地 東京都港区三田三丁目13番16号

(3) 代表者の役職・氏名 代表取締役 菊池 正和

(4) 事業内容 I o Tサービスの提供、I o T製品の開発・販売

(5) 資本金 3,500万円

(6) 設立年月日 平成27年8月3日

(7) 決算期 12月末日

(8) 出資比率 株式会社 s M e d i o : 78.6%

西本雅一氏 : 14.3%

菊池正和氏 : 7.1%

## 3. 共同出資相手先の概要

(1) 西本雅一氏

クラウドサービス事業及びI o T事業について広い見識を有しており、株式会社タス デザイングループ(所在地: 東京都港区赤坂七丁目2番21号)の代表取締役であります。

(2) 菊池正和氏

モバイル通信業界に長く従事しており、I o T事業関連分野の広い見識を有しております。

4. 共同出資による子会社設立の日程

- (1) 取締役会決議 平成27年7月15日
- (2) 設立年月日 平成27年8月3日
- (3) 事業開始 平成27年10月1日

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第3 四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)
---

税金費用の計算

税金費用については、当第3 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,015,134	1,316,862
売掛金	17,587	53,957
たな卸資産	56,064	25,138
その他	71,341	101,278
貸倒引当金	△146	△146
流動資産合計	1,159,982	1,497,090
固定資産		
有形固定資産	9,496	22,543
無形固定資産		
のれん	—	67,388
その他	67,338	81,958
無形固定資産合計	67,338	149,347
投資その他の資産	50,414	57,065
固定資産合計	127,249	228,955
資産合計	1,287,231	1,726,046

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	38,102	50,346
1年内返済予定の長期借入金	-	2,076
未払法人税等	132,362	20,832
前受収益	87,956	94,241
事業構造改善引当金	-	8,133
賞与引当金	-	3,068
その他	66,263	47,572
流動負債合計	324,683	226,271
固定負債		
長期借入金	-	5,709
長期前受収益	73,296	7,318
資産除去債務	2,250	7,239
繰延税金負債	414	326
固定負債合計	75,961	20,593
負債合計	400,645	246,865
純資産の部		
株主資本		
資本金	254,652	474,039
資本剰余金	260,929	522,521
利益剰余金	395,755	448,748
自己株式	△46,934	△112
株主資本合計	864,403	1,445,197
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	22,182	20,609
その他の包括利益累計額合計	22,182	20,609
少数株主持分	-	13,373
純資産合計	886,585	1,479,180
負債純資産合計	1,287,231	1,726,046

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	793,452	908,940
売上原価	317,600	434,784
売上総利益	475,851	474,156
販売費及び一般管理費	266,968	359,487
営業利益	208,883	114,669
営業外収益		
受取利息	317	473
受取補償金	8,085	-
為替差益	38,291	1,452
その他	275	527
営業外収益合計	46,969	2,453
営業外費用		
支払利息	-	42
株式交付費	307	3,649
公開準備費用	-	9,597
営業外費用合計	307	13,289
経常利益	255,545	103,833
特別損失		
固定資産除却損	-	1,137
事業構造改善費用	-	8,638
特別損失合計	-	9,775
税金等調整前四半期純利益	255,545	94,057
法人税等	105,912	42,690
少数株主損益調整前四半期純利益	149,632	51,367
少数株主損失(△)	-	△1,626
四半期純利益	149,632	52,993

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	149,632	51,367
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,244	△1,573
その他の包括利益合計	△1,244	△1,573
四半期包括利益	148,388	49,794
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	148,388	51,420
少数株主に係る四半期包括利益	-	△1,626

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、当第3四半期連結会計期間において、第1回、第3回及び第6回新株予約権の行使請求に伴い新株式1,740,000株の発行を行いました。この結果、当第3四半期連結会計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ44,062千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が248,652千円、資本剰余金が254,929千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成27年3月26日付にて、公募による新株式の発行及び公募による自己株式の処分を行いました。この結果、資本金が150,696千円、資本剰余金が192,901千円増加、自己株式が46,821千円減少し、また、平成27年4月30日付にて、オーバーアロットメントによる売出に関連した第三者割当増資を行い、この結果、資本金及び資本剰余金がそれぞれ63,756千円増加し、また、ストックオプションの行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ4,935千円増加し、第3四半期連結会計期間末において、資本金が474,039千円、資本剰余金が522,521千円、自己株式が112千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、ソフトウェア事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。